

植物多様性センターの「アカメガシワの花外蜜腺」

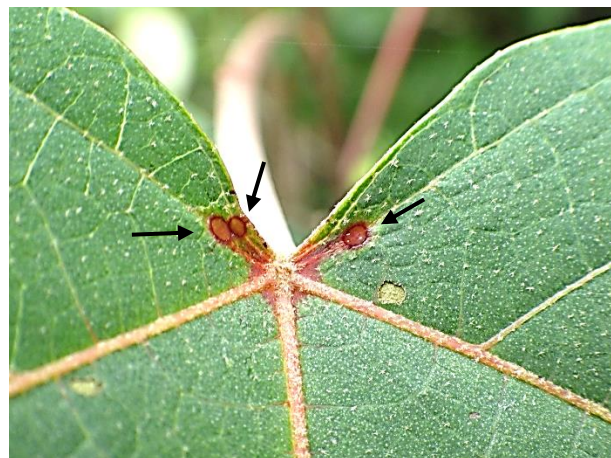
アカメガシワは、山地から都会まで、日当たりのよい開けた場所に自生する落葉高木で、代表的なパイオニア植物です。雌雄異株で、花外蜜腺を持つことでも知られます。花外蜜腺は葉身の基部に左右対称に2か所あるのが一般的ですが、2個ずつついていたり、基部からかなり離れた位置についていたり、形、大きさもじつにさまざまです。集まるアリも多様で、観察者を飽きさせることはありません。



葉身基部に接してついた花外蜜腺に集まるアミメアリ



葉身基部から離れてついた小さな花外蜜腺と小さなヒメアリ



片側が2か所についている左右非対称の花外蜜腺



若い楔形の葉について花外蜜腺、かなり離れてついていて